

2024年6月12日(水) 師崎 イサキ釣り 七福丸 ツレと
小潮:旧5/7 干潮:03:17(105cm) 満潮08:25(143cm) 干潮15:22(43cm) 大山沖
イサキ (35cm2尾 34cm3尾 良型が多い) 私10尾 ツレ12尾
サバ 4尾

大山沖で流し釣り

潮の大きさはちょうどよかった。

潮が大きすぎて釣りにくいということはなかった。

潮が小さすぎて食いが悪いということもなかった。

5時00分 集合

5時20分 出船

(港からポイントまで約1時間)

8時25分 満潮(143cm)

12時30分 納竿 沖上がり

【料金】 乗り合い 9,000円

アミエビのコマセ・仕掛け・氷付き

釣り座は受付順

オモリ80号・天秤・コマセカゴは、船上で借りる。

【仕掛け】 天秤吹き流し仕掛け

サービスの仕掛け (2セット入り)

ハリス2号幹糸2号 全長1.8m

枝30cm 間60cm

2本鉤 鉤にはスキンがついている。

持参:クッションゴム(直径1.5mm 長さ50cm)を持参したが不要。

予備のおもり80号・天秤・コマセカゴは持参せず

【様子】

○天気予報を見て1週間前に予約した。

○船は1艘でほぼ満席。4時20分頃港についた。すでに多くのお客さんが入っていた。

○たまたま右舷胴の操舵室横が空いていた。

○流し釣りであることから、大艦に入る必要はない。一番揺れにくい所に入れた。右舷の操舵室横は、港に帰るときちょうど影になって過ごしやすかった。

○天気は晴れ、風が少々。穏やかだった。出船すぐは寒いくらいでカップを着た。日が高くなるにつれ暑くなってきた。

○「棚は20~18m。根掛かりするので、底まで落とさないでください」のアナウンスと同時に実釣り開始。

○一投目、サバが掛かり、走り回って隣の仕掛けを巻き込んでお祭り、幹糸を取ろうとして無理したのだろう、竿を折ってしまった。

○折れた竿で一日釣ることにした。クッションゴムがあるから、なんとかなるだろうと考えた。

○ツレは途中でクッションゴムを切られた。その後はクッションゴムなしで釣ることになった。クッションゴムがなくても十分に釣ることができた。電話予約したときに「クッションゴムを使っている人はいませんが」



…」と教えてはもらっていたが…。

- ツレはぼつりぼつりと釣り上げている。自分には中々かからない。終了時刻に近づいて、移動となった。ここで1投目からヒット。続いてまたヒット。しばらくしてダブル。あと10分で終わりますというアナウンス。置き竿にして片付けていたらヒット。終了前の1時間ほどで5尾釣った。

【釣り方・次回に向けて】

- 流し釣りであるので指示棚で待つ。ときどき竿をあおってコマセを撒く。
- 前半、ツレの方がたくさん釣っていた。自分より竿をあおる間隔が短い。ツレはコマセを撒いていると言っていたが、あおることで誘いになっているのだろう。
- ※以前の記録から
 - 指示棚37mだとすると、40mまで落とし、竿をあおってコマセを撒き、37mまで仕掛けを上げる。
 - 指示棚が37mとすると、おもりが水面から37mに来るようにすること。(おもりの位置で考える)
 - 置き竿にしたとき、おもりが水面の位置でゼロmにセットすること。
- 終盤、ツレは釣れなかった。サバやカツオに切られて一本鉤で釣っていたとのこと。一本鉤では棚がワゴンポイントとなる。終盤、自分は前回釣行時のサービス仕掛けである3本鉤を使っていた。3本鉤なら棚の幅が広がる。
- 振り返ってみると、前半、自分はサバやカツオに切られて、1本鉤で釣っていた。釣果が落ちるはずだ。
- サバやカツオがいるときは、切られることが前提で、仕掛けをたくさん使う覚悟で釣ること。サバやカツオが回っているときは1本鉤で、いなくなったら2～3本鉤に替えるでしょう。
- 小さい方のクーラーが満タンになった。小さい方のクーラーで十分だ。
- 追加の氷をスタッフさんからいただいた。
- サバやカツオはリリースする。